

# 2017年 安全報告書



叡山電鉄株式会社

# 2017年 安全報告書

## <目次>

1. ごあいさつ	3
2. 基本方針と安全目標	4
(1) 基本方針	
(2) 安全目標	
3. 事故等の発生状況	5
(1) 鉄道運転事故	
(2) 災害	
(3) 輸送障害	
(4) インシデント	
(5) 行政指導等	
4. 輸送の安全を確保する取り組み	7
(1) 安全重点施策	
(2) 安全教育	
(3) ホームの安全性向上	
(4) 安全性向上のための設備等の改善	
5. 安全管理体制	12
6. ご連絡先	13

## 1. ごあいさつ

平素は叡山電鉄をご利用いただき、まことにありがとうございます。

当社は行動規範として「お客さま第一主義で安全とサービスの向上に努め、信頼の輪を広げます。」と定め、社長以下全社員が一丸となって、安全輸送及びサービス改善に取り組んでおります。

本報告書は鉄道事業法に基づき、輸送の安全の確保のための取り組みや実態について、自ら振り返るとともに、広くご理解いただくために公表するものです。

安全への取り組みに終わりはありません。お気づきの点などございましたら、ご意見をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

叡山電鉄株式会社

取締役社長 塩山等

## 2. 基本方針と安全目標

### (1) 基本方針

当社は、安全に対する基本方針を次のように定め、社長以下従業員全員に周知・徹底しております。

- ① 安全最優先の原則のもと、常に輸送の安全確保に努め、安全適切な処置をとる。
- ② 輸送の安全に関する法令及び関連する規程類を遵守し、厳正、忠実に職務を遂行する。
- ③ 安全管理体制を適正に運用するとともに継続的な改善を図る。

### (2) 安全目標

#### 「有責運転事故ゼロ」

当社は平成16年10月以降、有責事故ゼロを続けておりますが、これからも「有責運転事故ゼロ」を安全目標とし、事故の防止に全力で取り組んでまいります。

### 3. 事故等の発生状況

#### (1) 鉄道運転事故

鉄道運転事故は下の7種類に分類されます。

平成28年度は、鉄道運転事故は発生しておりません。

##### ◆鉄道運転事故の分類

種類	内容
列車衝突事故	列車が他の列車または車両と衝突し、または接触した事故
列車脱線事故	列車が脱線した事故
列車火災事故	列車に火災が生じた事故
踏切障害事故	踏切道において、列車または車両が道路を通行する人または車両などと衝突し、または接触した事故
道路障害事故	踏切道以外の道路において、列車または車両が道路を通行する人または車両などと衝突し、または接触した事故
鉄道人身障害事故	列車または車両の運転により人の死傷を生じた事故 (上記の事故に伴うものを除く)
鉄道物損事故	列車または車両の運転により500万円以上の物損を生じた事故 (上記の事故に伴うものを除く)

#### (2) 災害(地震、暴風雨、豪雪等による被害)

平成28年度は、災害による鉄道施設または車両への被害は発生しておりません。

### (3) 輸送障害 (30 分以上の遅延や運休)

平成 28 年度は、輸送障害が 1 件発生しました。

ご利用のお客さまには大変ご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

- ・平成 29 年 1 月 17 日 (火) ~18 日 (水) 二軒茶屋駅~鞍馬駅間

平成 29 年 1 月 17 日、4 時 30 分頃、前夜からの豪雪により倒木が発生、断線により高圧線が停電した。他に線路内に多数の倒木、積雪があり二軒茶屋駅~鞍馬駅間が運休となった。その後、10 時 29 分に二軒茶屋駅~市原駅の運転を再開。全ての復旧作業が完了し、全線の運転が再開したのは翌 18 日の 19 時 21 分であった。

【対策】対策として要注意箇所の把握、異常気象が予想される際に事前巡回を強化し、倒木・落石等による輸送障害の減少を図ります。

### (4) インシデント (事故の兆候)

平成 28 年度は、インシデントは発生しておりません。

### (5) 行政指導等

平成 28 年度は、国土交通省からの行政指導等は、ありませんでした。

## 4. 輸送の安全を確保する取り組み

### (1) 安全重点施策

平成 28 年度の安全重点施策を次のように定め、取り組んでまいりました。

#### 1. 安全管理体制の確立

- ① 鉄道従事員として、職責の自覚と確実な業務の実施
- ② 規程類の見直しと体系の整備
- ③ 安全教育・訓練の充実（協力会社含む）
- ④ ヒヤリハット・事故の芽報告の充実と活用
- ⑤ 部署・階層を超えた情報共有及びコミュニケーションの充実

#### 2. 安全関連投資の実施

- ① PCまくらぎ化・軌道道床改良
- ② レール重軌条化
- ③ コンクリート柱化

## (2) 安全教育

お客さまの安全を確保するため、全社員を対象に各種教育訓練、業務研修会等の教育を行っております。平成 28 年度に実施した主な訓練は以下の通りです。

### ① 平成 28 年 12 月 14 日 火災消防訓練

出町柳駅にて、火災の発生を想定した訓練を駅構内店舗と合同で行いました。



### ② 平成 29 年 3 月 10 日 総合防災訓練

修学院車庫にて、地震の発生を想定した訓練を行いました。



### ③ 平成 29 年 3 月 31 日 踏切障害事故発生訓練

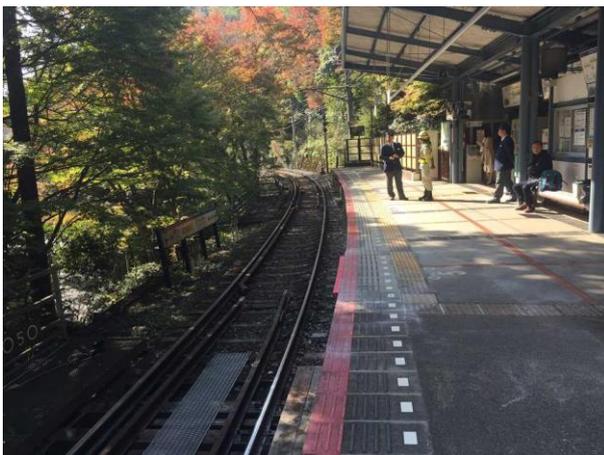
一乗寺 5 号踏切道にて、踏切障害事故の発生を想定した訓練を行いました。



### (3) ホームの安全性向上

駅ホームからの転落事故を防ぐため、曲線上にあるホーム先端部にCPライン（赤色の注意喚起を促すライン）を施し、乗降部分には楕状ゴムを設置してホームとの隙間を縮小しています。また、ホーム I T V 監視装置を設置し、視認性向上を図っています。

平成 29 年度は、出町柳駅および修学院駅の内方線付き点状ブロックの整備、出町柳駅の固定柵整備を計画しています。



CPラインと楕状ゴム



ホーム I T V 監視装置

## (4) 安全性向上のための設備等の改善

安全性向上のため、計画的に設備、車両等の改善に取り組んでおります。平成28年度に実施した主な工事は以下の通りです。

### ① PCまくらぎ化・軌道道床改良

老朽化した木まくらぎを、PCまくらぎに更新。あわせて軌道道床を更新。

・宝ヶ池駅構内～三宅八幡駅間

517.2単線m



### ② レール重軌条化

40kg レールを 50kg レールに更新。

・宝ヶ池駅構内～三宅八幡駅間

445単線m

・茶山5号踏切道 131.5単線m



### ③ コンクリート柱化

老朽化した木柱を、コンクリート柱に更新。

・木野駅～二軒茶屋駅間 13本



④ ホーム補強

老朽化したホームを補強するもの。

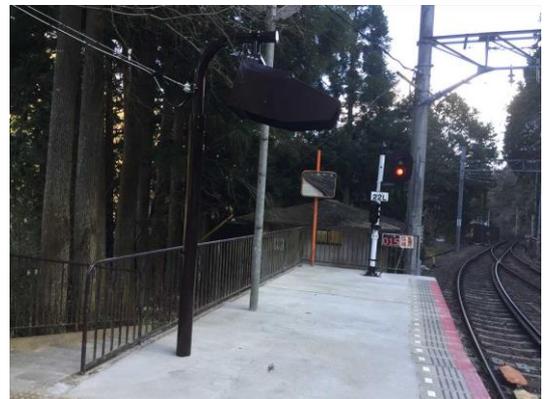
・修学院駅 上りホーム 177㎡



⑤ ホーム監視 I T V 新設

曲線ホームにカメラ・モニターを設置し、扉開閉時の安全確認を補助するもの。

・二ノ瀬駅 上りホーム 1台



⑥ 出町柳駅トイレ改修

便器を洋式化するなど、全面的にリニューアル。多目的トイレを設置してバリアフリー基準に適合した。

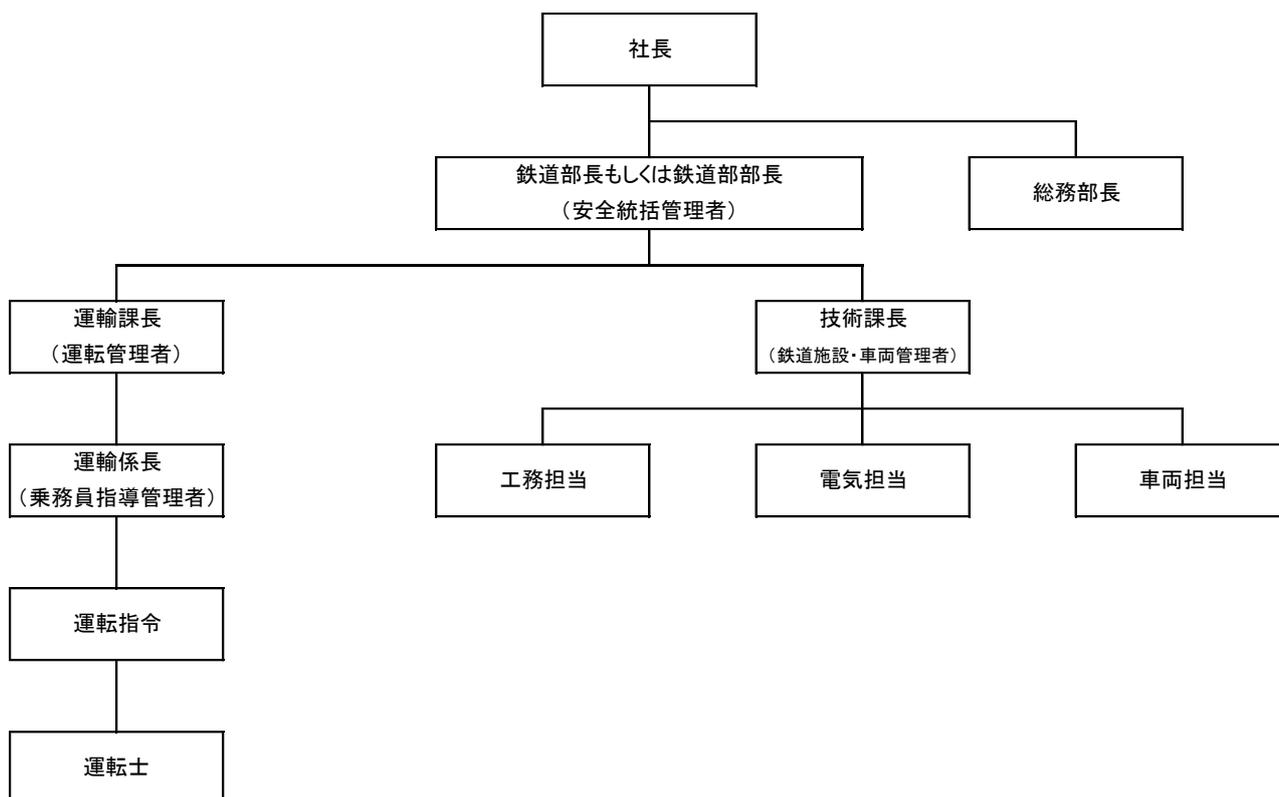
・出町柳駅 1番ホーム



## 5. 安全管理体制

当社では、輸送の安全を確保するために「安全管理規程」を定め、社長をトップとする安全管理体制を下図の通り構築しています。

### ◆安全管理体制図



### ◆管理者などの役割

役職	役割
社長	輸送の安全の確保に関し、指示を行い最終的な責任を負う。
安全統括管理者	輸送の安全の確保に関する業務を統括管理する。
運転管理者	安全統括管理者の指揮の下、運転に関する事項を統括管理する。
乗務員指導管理者	運転管理者の指揮の下、運転士の資質の維持に関する事項を管理する。
鉄道施設・車両管理者	安全統括管理者の指揮の下、鉄道施設および車両に関する事項を統括管理する。
総務部長	投資計画、予算計画、要員計画等の事項を総合的に管理する。

## 6. ご連絡先

安全報告書へのご感想、当社の安全への取り組みに対するご意見がありましたら以下へ  
お願いします。

叡山電鉄株式会社 総務部

〒606-8007 京都市左京区山端壱町田町8番地の80

TEL 075-702-8110 / FAX 075-702-4522

※土・日・祝日と年末年始を除く 9:00~17:00